



O C T 2007 No. 6 1

(事務局) (財)いも類振興会内
〒107-0052
東京都港区赤坂 6-10-41 ヴィップ赤坂 303 号室
TEL 03-3588-1040 FAX 03-3588-1225
<http://www.jrt.gr.jp>

目次	頁
ポテト・ロシア2007に参加して	1
新品種によるポテトチップ製品の試食について	3

ポテト・ロシア2007に参加して

(独) 農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター 森 元幸

8月19日から25日までの日程にて、ロシアのモスクワで開催された「Potato Russia 2007, International Congress, Exhibition and Field Demonstrations」に参加しました。そこで「Breeding of the potato cyst nematode resistant varieties in Japan (日本におけるジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種の育成)」の演題にて発表をし、また室内および圃場での展示の視察調査を行いました。モスクワは、涼しいとの期待に反し連日30℃を越す暑さで、会場の空調は不十分、宿泊したホテルにエアコンがないなど、予想外の暑さに見まわれました。おかげで、2kg減量になりました。

講演会はロシア語と英語の同時通訳で運営されましたが、ロシア語の質問内容を翻訳した英語を上手く聞き取れず、座長の質問要約により何とか回答することができました。質問は、日本においてジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種が育成され、さらに普及していることに驚きを示すものでした。さらに日本全体の生産量が少ない割に、生食・食品加工・澱粉原料など様々な用途向けに利用され、多数の品種が使用されていることも驚きのようでした。

講演の聞きかじりでは、ソビエト連邦が崩壊してバレイショの生産量は半分以下に激減しましたが、生食用に加え食品加工用の需要増加により、近年は生産量が持ち直しているとのこと。反収は約20t/haと低く、主に優良な種いもが供給されないためと推察します。なぜなら品種展示や機械収穫実演のために用意された圃場は、生育状態から反収が40t/haはあると推測したので、土壌と気象条件による生産の潜在能力は高いと判断しました。モスクワ近郊の一部の風景ですが、北海道東部地域と比べて違和感なく眺めました。十勝の区画基本形と比べると、道路と防風林が格子状になっているのは同じですが、十勝はこの区画内を幾つかに区切って使用しているのに対し、視察した地域では区切らずに大きなままで使用しています。

品種の展示はキリル(ロシア)文字表記でしたが、その多くは西ヨーロッパの品種であり、ロシア固有の品種は少ない。2006年8月下旬にアイダホ州ボイジーで開催された6th World Potato Congressでは、カラフルポテトが品種セッションのトピックとして扱われていましたが、今回は1品種も目にしませんでした。オランダとスコットランドは国際展示会の常連ですが、ドイツやポーランドなどロシアにより近い国々の企業展示が目につきました。また水耕や土耕によるミニチューバー生産など、種いも生産システムに関する展示もセットとなっていました。機械展示関連は、いわゆるソイルコンデショニング・システムとパワーハロー・ロータリーヒラーによる体系紹介が中心でした。2畦を処理し、畦間は90cm程度と、北海道に導入されつつある体系より一回り大きなものです。また、灌漑設備や澱粉製造プラントなども見られました。

ロシアのオイルマネーを目当てに西ヨーロッパ諸国が、品種・種いもから農業機械まで最新の技術体系を並べて売り込み攻勢をかけている状況でした。ロシアから日本へバレイショ輸出が想定される状況ではなく、逆に日本からサハリンや沿海州方面への種いも・農業機械・技術体系の輸出も可能ではないか？と想像を巡らせました。

故梅村芳樹氏が35年以上前にソ連を訪問したバレイショ調査報告があり、後にご本人から直接に聞いたソビエト科学技術の栄光は、バレイショに関しては見ることはできませんでした。休眠が長すぎて春に芽を出すのが難しいテンポというユニークな品種の話を覚えていますが、残念ながら体制崩壊によりこのような技術蓄積が飛散したと想像します。かつてアメリカと互角に渡り合った技術力を、地下鉄システムに見ました。郊外と中央を結ぶ放射状線と環状線が市内を巡り、都市機能の基本を形成しています。噂どおり、核シェルターを思わせる深いところに駅があり、どの駅もその装飾がスターリン様式？でりっぱなものでした。地下鉄は余分な調整装飾機能がなく、基本機能を充実した設備で、電車運行中に連結ポイントで1秒ほど暗黒となるなど快適性は犠牲にしているが、調整部品が少なく丈夫で故障がないと観察しました。

ロシア人は無愛想で表情に乏しいとの印象を持ちますが、内実は素朴で人なつっこい人たちでした。ガイドブックのキリル文字を示して道を聞くと、近くならそこまで連れて行ってくれるご婦人がいる。アメリカではこちらから絶対近づかない公園のベンチでウオトカを飲んでいるオッチャンも、向こうから声をかけてきて親切に道を教えてくれる。無愛想で杓子定規と感じるのは、自分の役割を一生懸命に果たそうとするけなげさの裏返しと理解しました。素朴で不器用な人が多いのだらうと。さらに余談ですが、ロシアの女性は二十代で脱皮すると聞きましたが、その意味がわかりました。十代と思われる娘さんたちはファッション雑誌から抜け出したのでは？と思うほどスタイルが良く綺麗な人が多い。けれどもいつもか体重は倍以上になり、どんどんたくましさを増すようです。

かつてのソビエト体制の是非は別として、国家体制が崩壊するような変革は、多くの国民にとって決して幸せなことではないと感じました。西ヨーロッパの資本主義経済システムが容赦なく押し寄せており、この先、素朴でお人好しの人たちがどのようになるのかを想像すると、幾ばくかの悲しさを感じました。

新品種によるポテトチップ製品の試食について

事務局

日本いも類研究会では、昨年に引き続き副会長である菊水堂さんのご協力を得て、ポテトチップ用新品種等によるポテトチップ製品の試食サンプル配布及びアンケート調査を行うことになりましたので、是非ご参加下さい。

なお、配布にあたっては、下記事項を条件といたしましたので、ご協力をお願いいたします。

1) ポテトチップ製品の試食申し込み(=アンケート調査参加)は、
kiku@kikusui-do.co.jp(菊水堂 岩井)にメールでお願いします。

2) 申し込みメールには、次の項目を記入して下さい(試食品を送付するため)。

- ・申込者氏名
- ・申込者郵便番号・住所
- ・申込者電話番号

< 申込期限 > 11月16日(金)(在庫が無くなり次第締め切ります。)

3) ご家族・知人等に呼びかけ、3名以上(アンケート記入者が3名以上という意味です。)で参加下さい。

4) 送付するポテトチップは、以下の7種類(7品種)各2袋です。

- トヨシロ
- はるか
- チェルシー
- サッシー
- ノーザンルビー
- キタムラサキ
- こがね丸

5) 送付数量は、3名以上の参加を想定していますが、多人数で参加される場合は人数をお書き下さい。菊水堂の方で送付数量を割り増して送付します(上限があります)。

6) アンケート調査については、送付するエクセルファイルのアンケート用紙の「個人用」シートを印刷して、回答して下さい。

7) 申込者が結果を集計し、同ファイルの「グループまとめ用」シートに人数を入力して提出して下さい。

8) 全体集計を行う関係上、アンケート結果の送付は必ずメールを使用し、ファイルで提出して下さい。

また、全体集計作業に支障が出るため、ファイルの様式は変えないで下さい。

< アンケート提出先 >

メールアドレス: yano_te@jrt.gr.jp

提出期限: 11月30日(金)

* 備考 *

* サンプルの中には、ポテトチップ用品種以外も含まれます。

* 様々なポテトチップを楽しむ中で、新品種に親しんでいただけたら幸いです。

* アンケート結果については、後日、JRTWeb で公表します。

~~~~~  
編集後記【閑話】

めっきり秋らしくなってきましたね。あちこちで、焼き芋販売の軽トラックからいい香りが漂うと、ついつい購入してしまう今日この頃です。焼酎の新酒も楽しみです(こちらが本音か)。

恒例ともなりつつある、「ポテトチップの試食」参加者を募りますので、奮ってご参加ください。ご参加の際はアンケートも忘れずにお願いします。